

政策体系	政策No.	4	政策名	育み磨きあうまちづくり			施策主管課	教育総務課		
	施策No.	3	施策名	スポーツ、芸術文化の振興	重点施策		施策主管課長名	東郷 一徳		
施策関係課名		保健体育課、文化振興課								
1 基本計画期間(平成20年度～平成24年度)における施策の方針										
<p>・スポーツ振興については、市民の健康・体力の保持増進を図るとともに、融和と連帯感を養い、温もりと活力に満ちた明るく豊かなまちづくりに努める。また、スポーツを通じて交流活動の活性化が図られる活動を奨励する。</p> <p>・芸術文化振興については、市民の自発的な文化活動を支援する。また、多様化する市民のニーズに対応した文化活動を推進し、日常生活にゆとりと潤いを感じることのできる文化の薫り高いまちづくりを推進する。</p>										
2 施策の目的と成果把握										
対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)			市民							
対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
A	人口	人	見込み値	127,871	128,128	128,383	128,640	128,868	129,098	
			実績値	127,773	127,450	127,662				
B	競技団体数 体育協会加入団体数、スポーツ少年団登録団体数	団体	見込み値	226	145	145	145	145	145	
			実績値	220	213	128				
C	文化団体数 文化協会加入団体数	団体	見込み値	274	274	274	274	274	274	
			実績値	243	244	238				
意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)			<p>・スポーツに親しむ</p> <p>・芸術文化に親しむ</p> <p>*親しむとは</p> <p>・スポーツ...参加、観戦を含む概念として用いる</p> <p>・芸術文化...鑑賞と演奏、創作のいずれも含む概念として用いる。</p>							
成果指標 (意図の達成度を表す指標)		目標達成(105%以上)			目標をほぼ達成(95%～105%未満)			目標を未達成(95%未満)		
		単位	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
A	スポーツに親しんでいる市民の割合 (ほぼ毎日、週に1回程度、月に数回程度、年に数回程度)	%	成り行き値	59.0	59.0	59.0	60.0	60.0	60.0	
			目標値	60.0	62.0	64.0	66.0	68.0	70.0	
			実績値	58.6	63.3	63.1				
			達成率	98%	102%	99%				
			結果							
B	芸術文化に親しんでいる市民の割合 (ほぼ毎日、週に1回程度、月に数回程度、年に数回程度)	%	成り行き値	54.0	53.0	52.0	51.0	50.0	50.0	
			目標値	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	
			実績値	51.7	56.1	56.5				
			達成率	94%	100%	99%				
			結果							
C			成り行き値							
			目標値							
			実績値							
			達成率							
			結果							
D			成り行き値							
			目標値							
			実績値							
			達成率							
			結果							
E			成り行き値							
			目標値							
			実績値							
			達成率							
			結果							
成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)				平成24年度の目標値設定の考え方						
<p>・A...スポーツに親しんでいる市民の割合 総合計画進行管理に係る市民意識調査(ほぼ毎日、週に1回程度、月に数回程度、年に数回程度)</p> <p>・B...芸術文化に親しんでいる市民の割合 総合計画進行管理に係る市民意識調査(ほぼ毎日、週に1回程度、月に数回程度、年に数回程度)</p>				A	<p>・「スポーツに親しんでいる市民の割合」については、高齢者層における比率が高く、特に男性の比率が高い現状となっている。近年の健康志向の高まりとともに、今後も壮・老年層のスポーツ人口は増加するものと予想されることから、増加するスポーツ人口に対応した環境づくりを進めることにより12%の成果向上を目指す。</p>					
				B	<p>・「芸術文化活動に親しむ市民の割合」については、芸術文化団体数の増加及び発表の機会の拡充等により増加傾向にある。今後も活動の場の提供や支援を行い15%の成果向上を目指す。</p>					
				C						
				D						

3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画書より)

- ・スポーツ少年団については統一がなされているので、今後は団員の交流を深めていく必要がある。なお、統一されていない競技種目団体については早めに統一を図る必要がある。
- ・施設利用日が重複し利用できない団体があるため、市内全域にある体育施設を有効活用するよう働きかけを行う必要がある。
- ・今後、一部の体育施設においては老朽化に伴い維持管理費が増大すると考えられる。維持管理の計画策定や改修を行うとともに、使用料減免制度の見直しを検討し、指定管理者制度導入施設については特に早急な対策を講じる必要がある。
- ・芸術文化活動では、舞台講習を開催するなど音響・照明効果などを出演者が学び、より芸術性を高めることが必要である。
- ・市民に音楽等の優れた芸術文化に触れる機会を提供していく必要がある。

4 施策の特性・状況変化・住民意見等

この施策の役割分担をどう考えるか(協働による市民と行政の役割分担)

ア)行政の役割 (市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)	イ)市民(住民、事業所、地域、団体等)の役割
<p>市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に市の役割となるが、誰もがいつでも、どこでも、できる生涯スポーツの環境づくりを図る。 ・芸術文化に関する鑑賞の場の提供や活動の機会を増やし、芸術文化に親しむ環境づくりに努める。 	<p>住民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり、体力づくりのためにスポーツに親しむ。 ・ストレス解消発散、人との親睦、融和のためのスポーツを取り入れる。 <p>知識、教養を高めるため、芸術文化に触れる機会をつくる。</p> <p>地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者を活用してスポーツの裾野を広げる。 ・芸術文化団体の発表の場の提供。

施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

近年の健康志向に鑑み、壮老齢のスポーツ人口は増えていく。50代の人たちが60代になってもそのままスポーツを続ける人がいるので今後、高齢者のスポーツ実践は増えていくと予想される。
また、市民が生涯学習の一つとして芸術文化の鑑賞や実践が増えてきており、文化協会などの団体に加入せずに個人で芸術文化活動を行う人が増えていくと予想される。

この施策に対して市民(対象者、納税者、関係者等)、議会からどのような意見や要望が寄せられているか?

- ・専用スポーツ施設の整備を行ってほしい。
- ・計画的な設備等の導入を図ってほしい。
- ・文化施設の整備・充実を図ってほしい。
- ・芸術文化に関する鑑賞の場や活動のできる環境をつくってほしい。

5 施策の現状

平成21年度施策の取組方針	平成21年度施策の取組方針の達成状況
<p>ア:スポーツ、文化施設の計画的補修を行う。</p> <p>イ:創作活動の支援と展示発表の充実を図る。</p> <p>ウ:霧島国際音楽祭の支援及び連携強化を図る。</p>	<p>ア:老朽化した施設の緊急修繕に追われ、当初計画していた補修の一部が先送りになった。</p> <p>イ:市民からの要望にこたえ、霧島写真展の応募作品を各地区で巡回展示した。</p> <p>ウ:霧島国際音楽祭については、30周年記念事業として開催したため例年以上の来場者があり盛況に終わった。</p>

平成21年度施策の目標値と実績値の比較

目標達成 105%以上
目標をほぼ達成 95%~105%未満
目標を未達成 95%未満

	平成21年度成果指標			結果
	目標値	実績値	達成率	
A	64.0	63.1	99.0%	
B	57.0	56.5	99.0%	
C				
D				
E				

平成21年度施策の成果指標の達成状況及び要因

- ・スポーツに親しんでいる市民の割合については、平成20年度実績値に比べ0.2ポイント、平成21年度の目標値に0.9ポイント下回っているものの、ほぼ目標を達成できた。実績値が下がった要因としては、新型インフルエンザによる各種大会の中止・延期による影響と思われる。
- ・芸術文化に親しんでいる市民の割合については、平成20年度の実績値に比べると0.4ポイント上回っているが、平成21年度の目標値に比べると0.5ポイント下回っているものの、平成21年度の目標はほぼ達成できた。これは、霧島国際音楽祭が30周年記念事業として開催し、入場者数が増えたことが主な要因となっている。また、目標値に達成できなかった要因としては新型インフルエンザの影響が考えられる。

基本事業の

目標達成度

(平成21年度目標と実績との比較)

= すべての目標値を達成 = 一部の目標値を達成 x = すべての目標値を未達成

スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり

生涯スポーツ、芸術文化に親しむための環境づくり(活動の場の確保)

スポーツ、芸術文化団体の育成

6 平成22年度の施策の取組方針

(昨年度マネジメントシートより)

7 平成23年度に向けた施策の課題・方向性

- ・老朽化した施設の年次的な整備を図る。
- ・芸術文化、スポーツ事業への市民の参加意欲を高める。

- ・市内全域にある体育施設を有効活用するため、利用者の利便性を図る。
- ・体育施設および芸術文化施設の安心安全な市民の利用のため、維持管理の計画策定や改修を行う。
- ・音楽等の優れた芸術文化に触れることにより、親しむためのきっかけづくりを積極的に進めていく。

基本事業	4-3-1	基本事業名	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり	基本事業 主担当課	・保健体育課 ・文化振興課
------	-------	-------	---------------------	--------------	------------------

1 基本事業の目的、取組み方針

基本計画期間における取組み方針 (総合計画書より)	
市民がスポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけとなる情報提供やスポーツ、芸術文化教室等を公民館、各種団体・組織と連携して行う。	
対象	市民
意図	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。

2 基本事業の指標等の推移

成果指標名	単位	成果指標の測定方法	数値区分	目標達成 (105%以上)		目標をほぼ達成 (95% ~ 105%未満)		目標を未達成 (95%未満)		
				19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年度)	
A きっかけづくりの活動(スポーツ教室等)に参加したのべ人数	人	市主催大会等への参加者数	成り行き値	55,086	55,086	55,086	55,086	55,086	55,086	55,086
			目標値	56,985	58,885	60,784	62,684	64,583	66,482	
			実績値	57,516	57,100	61,070				
			達成率	101%	97%	100%				
			結果							
B きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加したのべ人数	人	市主催事業の参加者数	成り行き値	21,790	21,790	21,700	21,650	21,600	21,550	
			目標値	21,790	23,319	23,470	23,143	23,178	23,170	
			実績値	22,530	20,633	24,104				
			達成率	103%	88%	103%				
			結果							
C			成り行き値							
			目標値							
			実績値							
			達成率							
			結果							
D			成り行き値							
			目標値							
			実績値							
			達成率							
			結果							

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

・スポーツ活動参加者数に関しては、目標値10%の成果向上を目指す。
 ・文化活動参加者数に関しては、目標値5%の成果向上を目指す。

4 平成21年度基本事業の取組方針

・各競技団体の統一を働きかける。
 ・各種スポーツ大会への参加呼びかけを行い、スポーツに取り組むきっかけづくりを推進する。
 ・優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するとともに、市民の創作活動のきっかけづくりになるよう進めていく。

5 平成21年度基本事業の取組方針の達成状況

・市体育協会の各地区支部制を廃止し、各競技団体を原則統一したことに伴い、各地区支部ごとに行っていた各種スポーツ大会もそれぞれ実行委員会を組織して運営を行った。
 ・それにより、今まで以上に地域の参画や協力が得られるようになり、きっかけづくりとなったと考えられる。
 ・舞台鑑賞事業等の取組みについては概ね計画通り実施し、当初の目的を達成した。

6 平成21年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

・きっかけづくりの活動(スポーツ教室等)に参加した延べ人数としては、平成20年度の実績値は上回り、平成21年度の目標値も上回った。その要因としては、出前講座・各種スポーツ祭の充実を行い、参加者数が増えたことがあげられる。
 ・きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数としては、平成20年度の実績値、平成21年度目標値とも上回っている。これは、霧島国際音楽祭が30周年記念事業として開催され、入場者数が増えたことが主な要因となっている。

7 平成22年度基本事業の取組方針

スポーツや文化活動に関する市民ニーズを把握し、既存事業のさらなる充実を図る。

8 平成23年度に向けた基本事業の課題・方向性

市民がスポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけとするため、各種大会・イベントを実施するとともに情報提供を行う。

基本事業	4-3-2	基本事業名	生涯スポーツ、芸術文化に親しむための環境づくり(活動の場の確保)	基本事業 主担当課	・保健体育課 ・文化振興課
------	-------	-------	----------------------------------	--------------	------------------

1 基本事業の目的、取組み方針	
基本計画期間における取組み方針 (総合計画書より)	
<ul style="list-style-type: none"> 一部の体育施設は老朽化しているため、その改修及び維持管理を計画的に進める。 文化施設については照明や音響等の設備の充実を図り、その効果によって芸術性をさらに高めていくことに努める。 	
対象	市民
意図	スポーツや芸術文化活動を行う環境が整う。

2 基本事業の指標等の推移		目標達成 (105%以上)		目標をほぼ達成 (95% ~ 105%未満)			目標を未達成 (95%未満)		
成果指標名	単位	成果指標の測定方法	数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年度)
A スポーツを行う環境が整っていると考える市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0	42.0
			目標値	42.0	42.0	42.0	42.0	43.0	43.0
			実績値	38.9	42.9	42.7			
			達成率	93%	102%	102%			
			結果						
B 芸術文化活動を行う環境が整っていると考える市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
			目標値	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0
			実績値	20.6	24.2	22.2			
			達成率	103%	115%	101%			
			結果						
C			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠
<ul style="list-style-type: none"> 民間のフィットネスクラブなどの体育施設は今後も立地する可能性があるものの大幅な向上は期待できない。市としては計画的な施設の見直しや地域を越えての利用の促進によって若干であるが成果向上を目指す。 文化施設の年次的な設備等の整備を図り、安心安全でより快適な空環境を構築する。

4 平成21年度基本事業の取組方針	5 平成21年度基本事業の取組方針の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ア:補修等を行うため、体育施設の整備計画を策定する。 イ:文化施設(市民会館)の環境整備については、各種設備器材のメンテナンスと器材の更新が必要であるが、多額の予算を要するため、計画的に進めることにより市民が満足する環境整備に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急修繕に追われ施設の整備計画は作成できなかった。 霧島市民会館の舞台吊物ワイヤー取替え工事を実施し、より安全な環境の中で舞台活動を行えるようになった。

6 平成21年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因
<ul style="list-style-type: none"> きっかけづくりの活動(スポーツ教室等)に参加した延べ人数としては、平成20年度の実績値は上回り、平成21年度の目標値も上回った。その要因としては、出前講座・各種スポーツ祭の充実を行い、参加者数が増えたことがあげられる。 きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数としては、平成20年度の実績値、平成21年度目標値とも上回っている。これは、霧島国際音楽祭が30周年記念事業として開催され、入場者数が増えたことが主な要因となっている。

7 平成22年度基本事業の取組方針	8 平成23年度に向けた基本事業の課題・方向性
<ul style="list-style-type: none"> 施設の計画的な整備を図り、安心安全な施設運営に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育施設は老朽化しているため、その改修及び維持管理を計画的に進める。 安心安全でより快適な施設運営を目指すため、抜本的な施設のあり方を研究するとともに、市民ニーズに即した施設整備を年次的に進めていく。

基本事業	4-3-3	基本事業名	スポーツ、芸術文化団体の育成	基本事業 主担当課	保健体育課 文化振興課
------	-------	-------	----------------	--------------	----------------

1 基本事業の目的、取組み方針

基本計画期間における取組み方針 (総合計画書より)

・地域における各種団体が行うスポーツ活動を支援するとともに、交流を促進するための働きかけを行う。
 ・市民の自発的な芸術文化活動が積極的に行われるよう支援する。

対象	・市民 ・スポーツや芸術文化活動を行っている団体・組織	意図	・スポーツ、芸術文化活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。 ・スポーツ、芸術文化活動に取り組む仲間が増える。
----	--------------------------------	----	---

2 基本事業の指標等の推移

成果指標名	単位	成果指標の測定方法	目標達成 (105%以上)		目標をほぼ達成 (95% ~ 105%未滿)			目標を未達成 (95%未滿)	
			数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年度)
A スポーツ団体・組織の数	団体	競技団体数(体育協会加入団体数、スポーツ少年団登録団体数等)	成り行き値	226	226	145	145	145	145
			目標値	226	226	145	145	145	145
			実績値	220	213	128			
			達成率	97%	94%	88%			
			結果						
B スポーツ団体・組織の会員数	人	競技団体数(体育協会加入団体数、スポーツ少年団登録団体数等)	成り行き値	14,698	14,698	14,698	14,698	14,698	14,698
			目標値	15,205	15,711	16,218	16,725	17,231	17,738
			実績値	14,677	15,899	15,675			
			達成率	97%	101%	97%			
			結果						
C 芸術文化団体・組織の数	団体	文化団体数(文化協会加入団体数)	成り行き値	240	240	235	235	230	230
			目標値	243	246	249	252	253	253
			実績値	243	244	238			
			達成率	100%	99%	96%			
			結果						
D 芸術文化団体・組織の会員数	人	文化団体数(文化協会加入団体数)	成り行き値	4,470	4,400	4,390	4,360	4,345	4,335
			目標値	4,474	4,439	4,433	4,433	4,433	4,433
			実績値	4,472	4,180	4,077			
			達成率	100%	94%	92%			
			結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

・スポーツ団体については、平成20年度に霧島市体育協会の各競技団体の統一を計画しているため目標値を下げている。その後はスポーツ少年団等の少子化や団体育成に伴う増減はあるが、大きな変化がないとして目標値としては同じ数値としている。
 ・芸術文化団体に関しては、市民の嗜好が多様化しているとともに、既存の団体(文化協会)に依存しない傾向が見られることから、団体の育成は非常に厳しい状況である。そこで、目標値は概ね現状維持とした。

<p>4 平成21年度基本事業の取組方針</p> <p>スポーツ団体・組織数の会員数が減少している状況であるので、会員の確保に努める。 文化団体数については、文化協会の組織の充実を図り、各団体を魅力あるものにする。</p>	<p>5 平成21年度基本事業の取組方針の達成状況</p> <p>・スポーツ団体及び組織数については霧島市体育協会の統廃合等を行っていることやスポーツ少年団の少子化等により止むを得ない。会員数についてはある程度横ばいであると考えられる。 ・霧島市文化協会及び各支部の活動の充実を図った。各地区文化祭の開催や霧島市芸術祭を開催した。加盟団体全ての団体が展示・舞台発表ができるよう(国分・隼人地区はチャリティーショーの実施)配慮した。</p>
---	---

6 きっかけづくりの活動(スポーツ教室等)に参加した延べ人数としては、平成20年度の実績値は上回り、平成21年度の目標値も上回った。

スポーツ・芸術文化団体の団体数や会員数はともに減少している。
 これは、生涯学習(スポーツ・芸術文化)に対する市民の嗜好が多様化しているとともに、市民が既存の団体(スポーツ少年団、文化協会)に依存しない傾向が見られることが主な要因と思われる。

<p>7 平成22年度基本事業の取組方針</p> <p>・地域における各種団体が行うスポーツ活動を支援するとともに、交流を促進するための働きかけを行う。 ・文化団体との連携及び支援を図る。</p>	<p>8 平成23年度に向けた基本事業の課題・方向性</p> <p>・スポーツ団体の活性化を図るため、活動支援や団体相互の交流促進を図る。 ・市民の自発的な芸術文化活動をができるように、その環境づくりに努める。</p>
--	---